

# 学力向上の取り組みNEWS

～共に学ぼう、共に高め合おう～

## より良いものをめざして

### 総合発表会



前号で紹介いたしました、11月13日の土曜授業「総合発表会」に、大阪樟蔭女子大学の田辺久信教授に來校していただき、本校の取り組みを参観していただきました。田辺先生は一中生の発表の内容の濃さや、一人ひとりが根拠を持って発表している姿、学校の全生徒がチャイムの音だけで混乱もなく主体的に行動していることに驚き、大変感心しておられました。また、この取り組みが一中の伝統として続くことで、生徒の皆さんの力がより一層伸びていくことを楽しみにしていらっしゃいました。その田辺先生から一中生の皆さんに振り返りを送付していただいたので、紹介します。

### 田辺先生からのメッセージ

#### 1. プレゼンテーションについて

##### (1) よかったところ

- ・一人一人がしっかり自分で調べている。  
3年生全員が自分で行ったことが一人一人の力になっています。
- ・データをしっかり示している。  
根拠のあるデータを示すことで、聞き手に対する説得力になります。
- ・提案ができています  
ただ調べるだけでなく、そのことが「私たちにできること」などの表現で、提案しているところが素晴らしいです。調べるだけの発表は多くあり、それでは何が言いたいかわからないので、それを明確にしているところが素晴らしいです。

##### (2) 感心したところ

- ・題名がよかった。  
「聞いてみたい」「行ってみようかな。」と思わせるような題がたくさんありました。発表を聞いてもらうには入り口になる「聞いてみたいな」と思わせることが大切です。その工夫がありました。
- ・発表時間を守っていた。  
このような各ブースに分かれた発表会では、発表時間を守ることが大切です。それがよく守られ、運営がスムーズでした。

#### SDGs—私たちにできること—

田辺先生が最後に記載しており、3年生の振り返りでもありましたが、発表するだけでは世界は変わりません。自分たちにできることを実行していくことが、重要です。3年生が言っていた「知ること・伝えることが私たちにできること」ということが、実行の第一歩となるのでしょうか。

3年生は高校生になっても、たくさん探究活動をして、実行に移せる力を養ってもらえることと期待しています。

#### ビデオレター

田辺先生からビデオレターも届きました。今後の発表資料の工夫方法やSDGsそのものについても話してくれています。

1、2年生は3学期始業式で、3年生はクラスルームのURLから冬休みに視聴します。

田辺先生は、SDGsの研究のため、日本全国に飛び回って、現地で実際の取り組みの見学・調査をしているそうです。

#### 2. SDGsの取扱いについて

##### (1) 「私たちにできること」

- ・学んだことを行動につなげようとしている点が素晴らしかったです。SDGsで大切なことは具体的な行動です。実際につなげるように一人一人頑張りましょう。

##### (2) つながっている

- ・最初は17の課題のどれかを選び自分なりに調べていったと思いますが、調べていくとその課題が個別ではなく17個が繋がっていることがわかってきます。それに気付いている発表が見られました。SDGsは、「つながっていること」そして「私も起点であること」それを意識することが大切で、そんな発表があったことが素晴らしかったです。

#### 3. SDGs—私たちにできること—

この発表を受けて、次につなげることが大切です。

発表するだけで終わっては本当にもったいない内容であったと思います。具体的にどのような行動に結びつけるのか、同じような発表をしていた人たちが集まって行動につなげるのもいいでしょう。あるいは、自分の発表を基に企業に訴えることも大切です。そして、中学校での取り組みで終わるのではなく、これから高等学校やその先に進んでも、自分たちの未来を守るために取り組みを続けてください。  
発表お疲れさまでした。